

210115 関東の状況、および高知市介良と和歌山一A の収束状況について

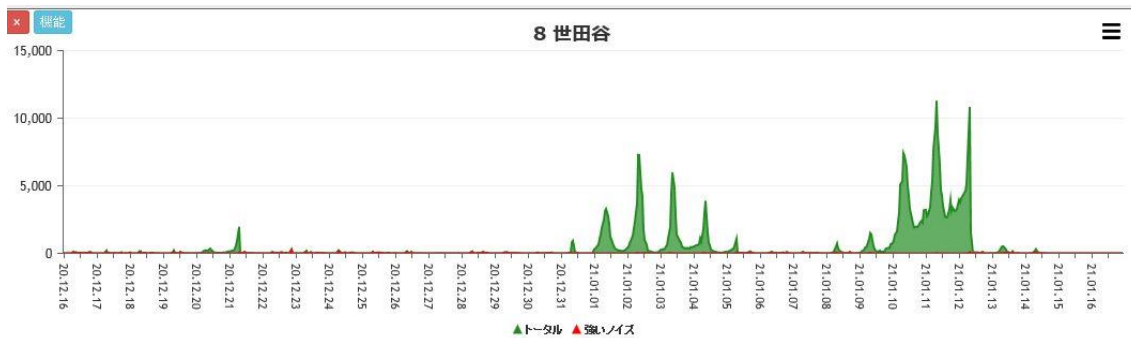
<関東の減衰、収束状況>

世田谷に1月2日にMAX7000ほどをピークとする7日間ほどの山がいったん収束して少し大き目のMAX11000ほどの山が出来て、減衰一収束してきています。

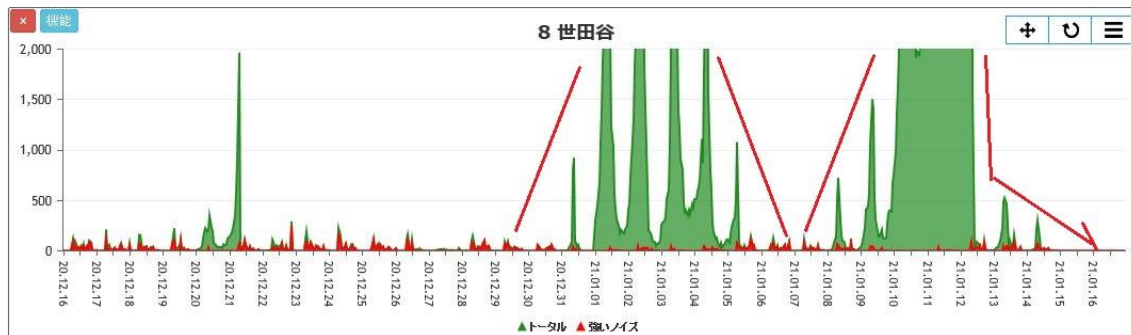
周辺ではセンター、五反田、大島、日光にも同期した収束傾向が見られます。

これらデータから、ここ数日で関東地区にM4~M5程度の中規模地震の可能性がります。

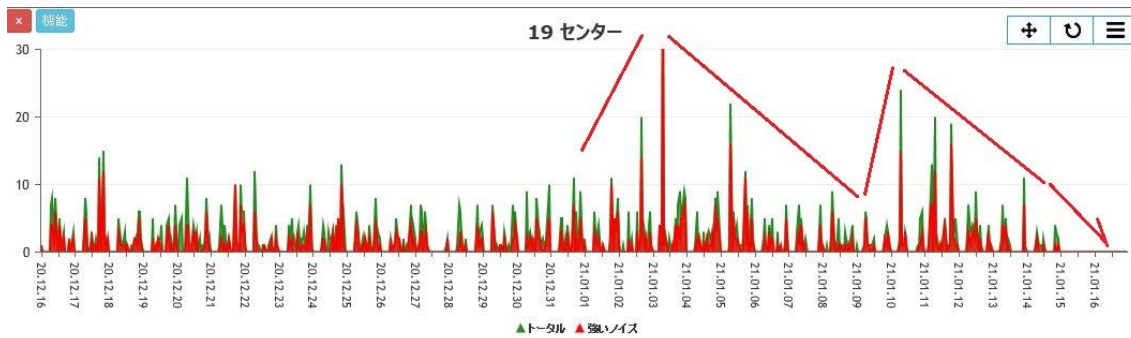
世田谷 30日間データ



世田谷 30日間データ (拡大)



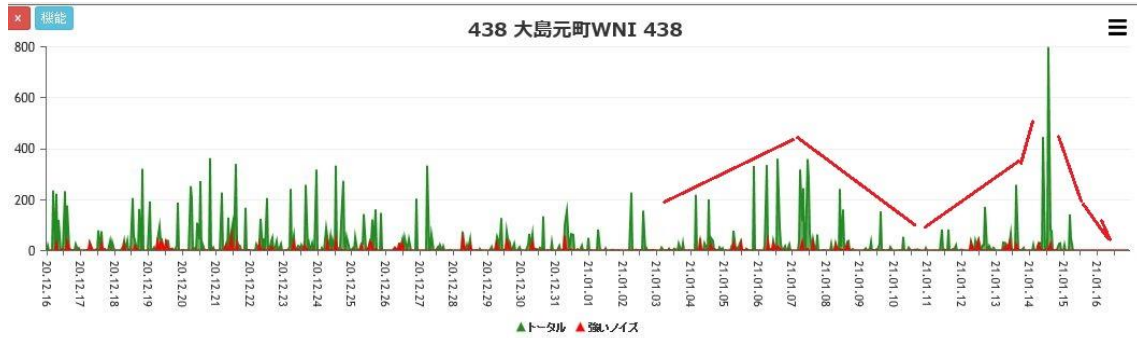
センター (世田谷 02) 30日間データ



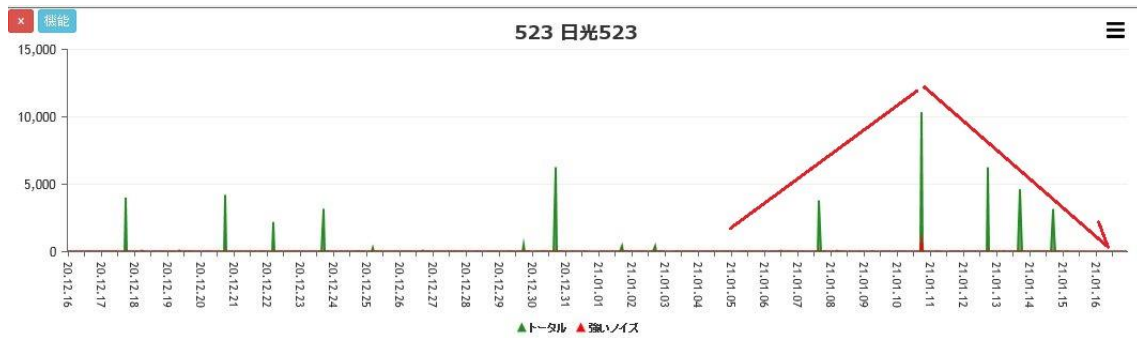
五反田 60日間データ



大島 30 日間データ

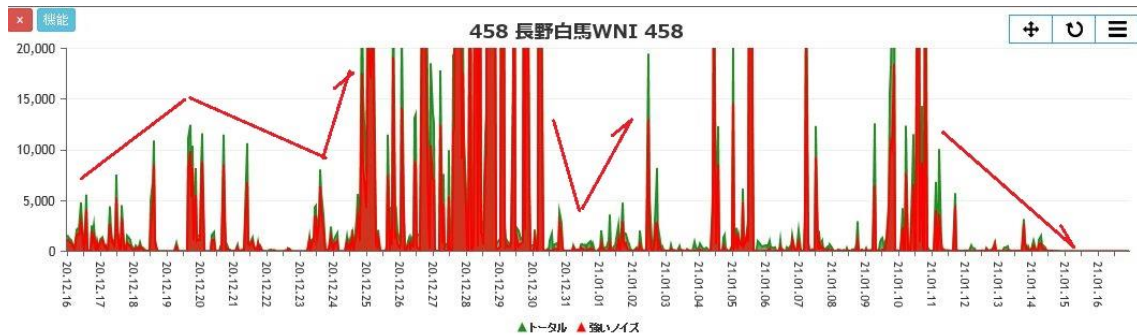


日光 30 日間データ



< 中部、北陸の減衰の状況 >

長野白馬、福井に減衰、収束の傾向がみられます。関東あるいは和歌山との同期でなければ 長野、福井あたりに M4~M5 程度の中規模地震の可能性がります。



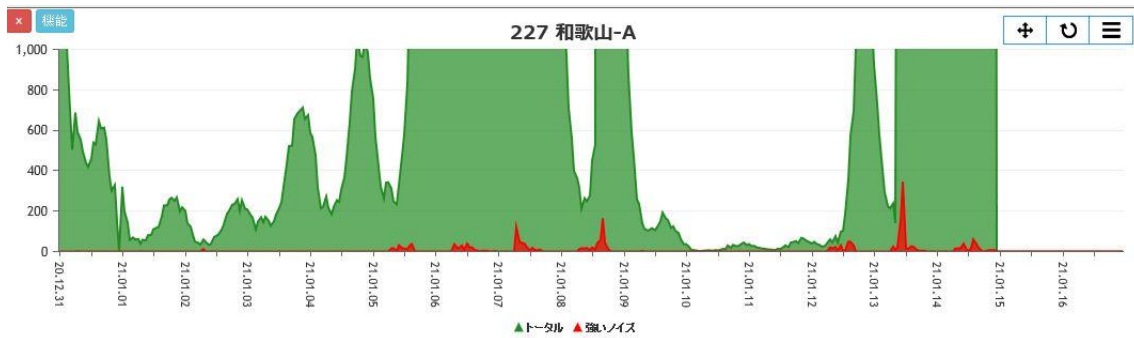


<和歌山一A と周辺、および高知市介良の状況>

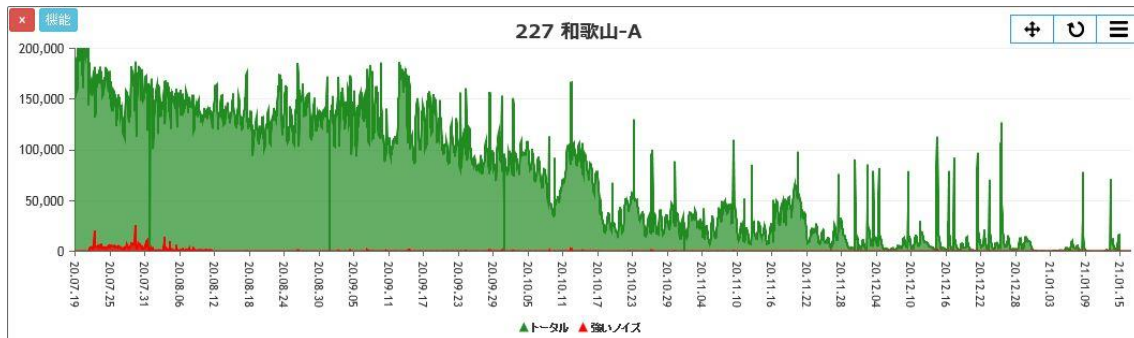
和歌山一A の長期データは 長い時間をかけて減衰していき、昨年 11 月ごろからは収束傾向が強まりました。最近ではほぼ完全な収束になってからも何度かリバウンドを繰り返しています。しかしその後、反転はなく基本的に長い収束傾向は続いています。印南、和歌山大地、伊勢など和歌山周辺のほかのデータも収束傾向が見られます。

また対岸の高知市介良の、同じく長期データも同期して減衰してきており こちらも反転はなく長い収束傾向は続いています。高知市介良のデータの前の収束は 4 年前で、このときはデータは広島、北九州との同期でしたが 収束して熊本地震 M7 が起きています。こうした状況から、もうしばらくは近畿一四国地区には十分な注意をお願いします。

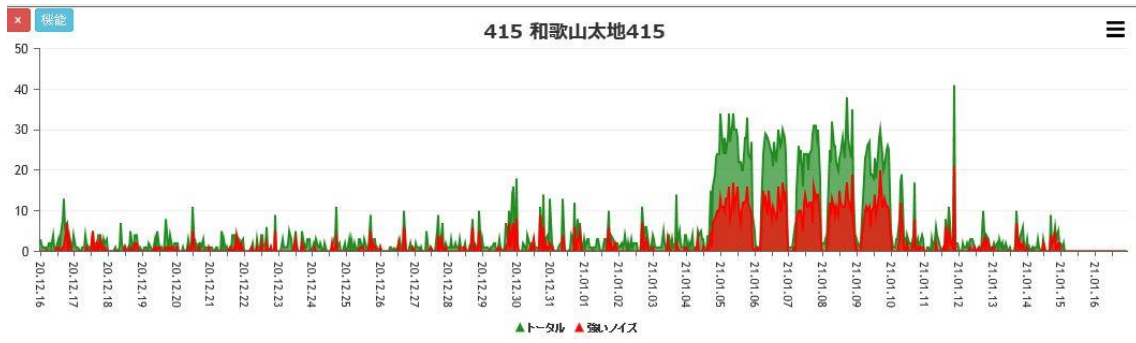
和歌山一A 15 日データ



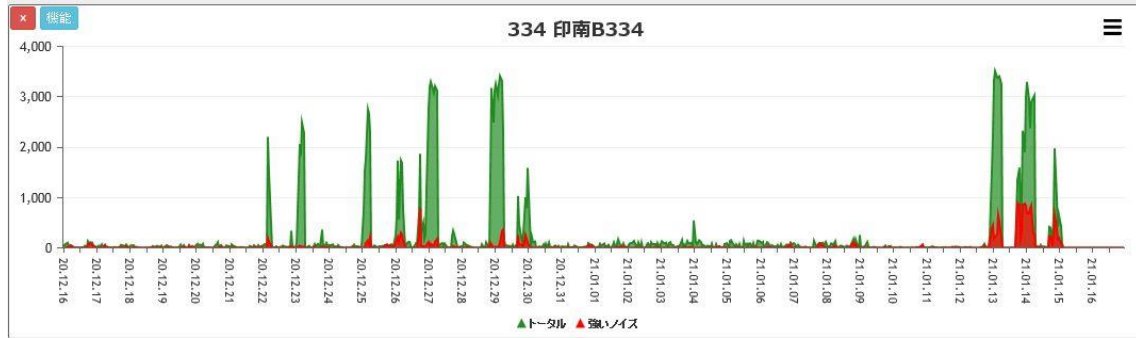
和歌山一A 180 日データ



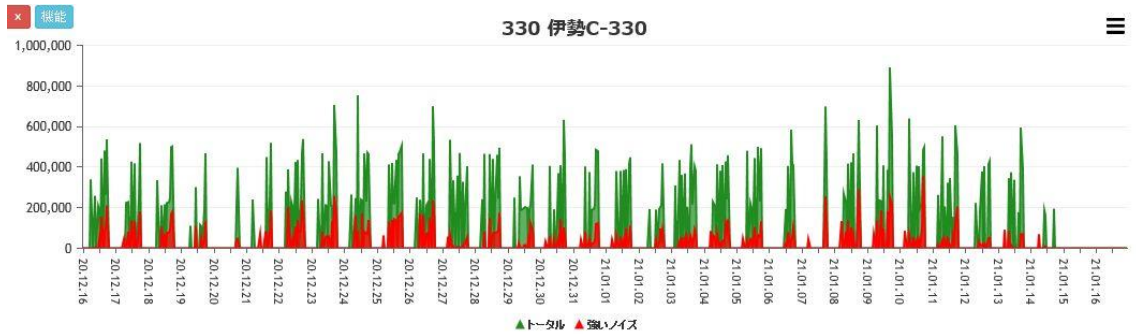
和歌山大地 30 日データ



印南 30日間データ

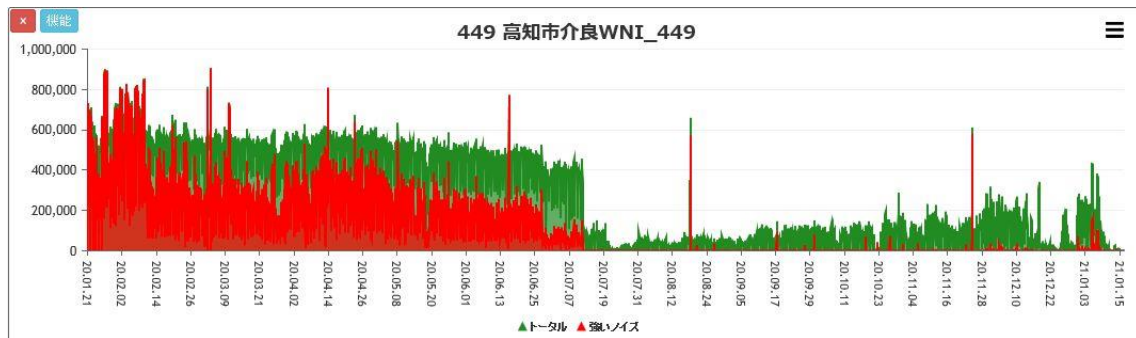


伊勢 C330 30日間データ

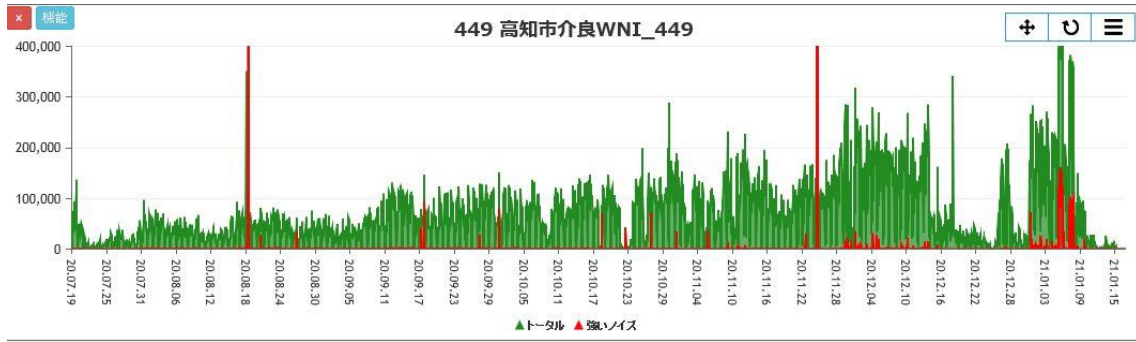


高知市介良の収束状況

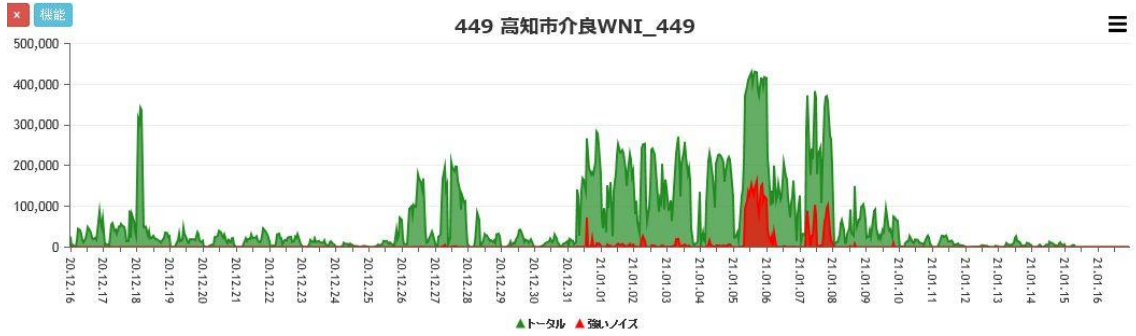
高知市介良 360日間データ



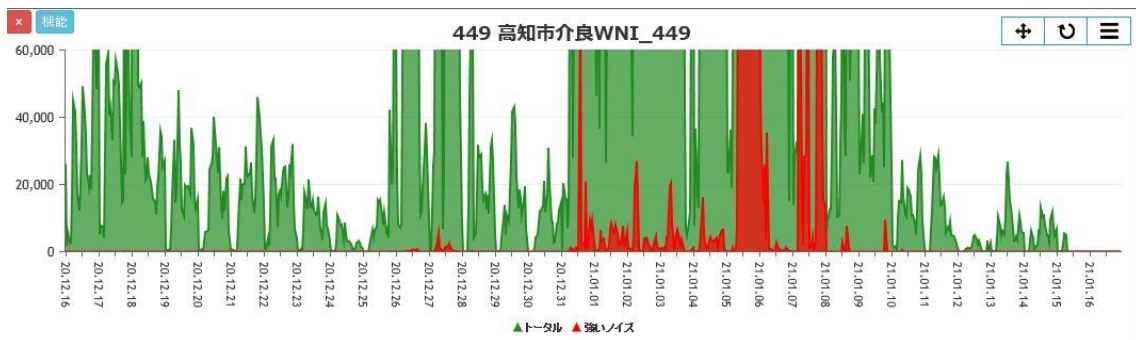
高知市介良 180日間データ



高知市介良 30日間データ



高知市介良 30日間データ (拡大)



佐賀 30日データ

